

現地レポート

<ベトナムにおける加工食品市場>

ベトナムで人気の日本食材といえば「だしの素」「ドレッシング」があげられます。現地日本食輸入卸業者のAKURUHI担当者によると、**都市部に住むベトナム人は「安全」「安心」「健康」を気にする人が多い**ため、例えばコレステロールを抑制するドレッシング等が人気があるとのこと。日本から輸入された商材は日本の売価の1.5倍～2.0倍である一方、現地製造のものは日本の売価と同程度かそれより安い金額で販売されています。



出典：筆者撮影
現地スーパー（Vinmart）の売り場。
各国のドレッシングが販売されており、キューピードレッシング（現地製造）が陳列。
180mlで22,700VND(約110円)

近年、ベトナムでは食事の準備を手軽に行いたいという需要が高まり、加工食品への注目が高まっています。単なる調理済み即席食品（RTE食品）というよりは、**家族で料理を食べるために調理を簡単にするための食材や簡単におかずが1品増やせるような食材が人気**です。

例；カレーのルー
麻婆豆腐の素やベトナム版シチュー（Bò kho）の素
冷凍食材（処理済みの魚、ホタテや 冷凍おかず）
冷凍ピラフ（大人数でシェアできるもの）

1人だと自宅から徒歩1分のところに屋台があって安く食べられたり、デリバリーもお手頃な価格で対応が可能です。**家族向けでひと手間加えて完成する加工食品が注目されています。**

最近ではコロナという要因もあり、子供が自宅から外出できないため、子供と一緒に調理が楽しめるタコ焼き、ホットケーキミックス、チジミなども人気でした。ベトナム向けの加工食品は安心・安全はもちろんですが、**家族、特に子供と一緒に体験ができる食品が注目**です。



出典：筆者撮影
日本食材店（HachiHachi）。
おうち時間が増えたことにより、家庭で子供と一緒に楽しめる食材が人気に。

品目名・商品名	販売単位	販売価格 (VND)	日本価格 (¥)	日本小売価格	原産国 産地	販売店の 種別
ハウス パーモントカレー（中辛）カレールー	230g	89,900	449.5	252	日本	日系
ハウス 咖喱屋カレー（中辛）	200g	54,000	270	107	日本	日系
キューピー 焙煎ごまドレッシング	210ml	60,000	300	281 (180ml)	ベトナム	ベトナム
キューピー マヨネーズ	130g	24,000	120	154	ベトナム	ベトナム

出典：JETROサイト「海外マーケティング基礎情報」、ベトナム現地スーパー Vinmartサイト、キューピー商品紹介ページ

現地レポート

<加工食品の販売チャンス → テト（旧正月）ギフト商戦>

ベトナムにはテトという旧暦のお正月を祝う習慣があり、2022年は2月1日（火）が旧暦の元日でその前後が大型連休でした。ベトナム人は旧暦の新年初日の行動や振る舞いを非常に大切にしており、お世話になった人や親戚に感謝の気持ちを込めて贈り物をする習慣があります。この贈り物にはお金をかける傾向があり、小売店でも年の大半の売上をこのテト商戦で稼ぎ出すという店舗もあるようです。この**テト商戦は日本の加工食品を取り扱ってもらえる一番のチャンス**です。来年のテト商戦を見据えて、いつ、どうすればいいかを参考にしてください。ちなみに2023年のテト祝日は1月22日のため、少し早いですが、クリスマス商戦、バレンタインデー商戦を考えると、小売にとっては戦略が組みやすい日程のように思えます。

●テト商戦に向けたアプローチのタイミング

現地商社が本格的にテト用の商品の採用を決めるのは9～11月頃です。そのため、このころまでには「贈答用」としての提案を行う必要があります。自社商品をテト商戦に照準を合わせるのであれば夏の終わりごろから積極的に動き始める必要があります。2023年のテトは例年より少し日程が早いため、8月上旬から商談のために動き始めてもいいかもしれません。

●テト商戦で好まれる商品

お茶、アルコール商品、クッキーなどの菓子といった様々な商品がプレゼントされますが、**日ごろはなかなか食べられない高付加価値商品や豪華な品物**も好まれます。また、特に外観にこだわった、赤や金などの目立つパッケージが好まれます。年配の方へ贈る場合は漢方薬など健康系の商品を詰め合わせるギフトなども見受けられます。



出典： <https://jemart.com.vn/>

自分では買わないがもらってうれしい、プレゼントして見栄えする、と思われる商品がポイントです。金箔入り日本酒が採用された例もあります。

- ・日本酒、道産ワイン
- ・日持ちするスイーツ
- ・（常温で保管可能な）真空パック対応の海鮮食材
- ・栄養ドリンク、滋養食材

北海道食品はなんでもチャンスがありそうですが、特に上記などの食材は好まれるのではないのでしょうか。

【著者紹介】株式会社フォーバル 海外ディビジョン (<https://www.forval.co.jp>)

6億人の人口を抱えるASEAN諸国にフォーカスし、カンボジア、ベトナム、インドネシア、ミャンマーの4カ国に拠点を構え、日系企業、特に日本経済を支えている中小企業に対し、「進出前」から「進出後」までをトータルにサポートしています。お気軽にご相談ください。

ベトナム・タイへの食品販路拡大に関するご支援を希望の方は必要事項をご記入の上、札幌市へE-mailにてお送りください。